

地域の水と環境を支える

水コンサルタントになろう

地域の水インフラの
プランニング、デザイン&マネジメント
それが「**水**コンサルタント」の仕事です。



協会ホームページ



水コンサルの仕事を
覗いてみよう



Q. 水コンサルタントとは？

建設コンサルタント

国土全般のインフラ整備

道路 橋梁 河川 ダム
港湾 鉄道 空港 など

水コンサルタント

地域の水と環境に特化

水道 下水道

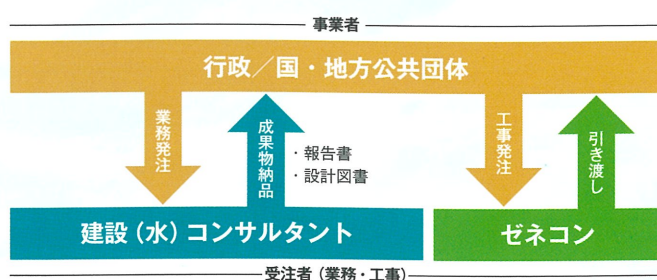
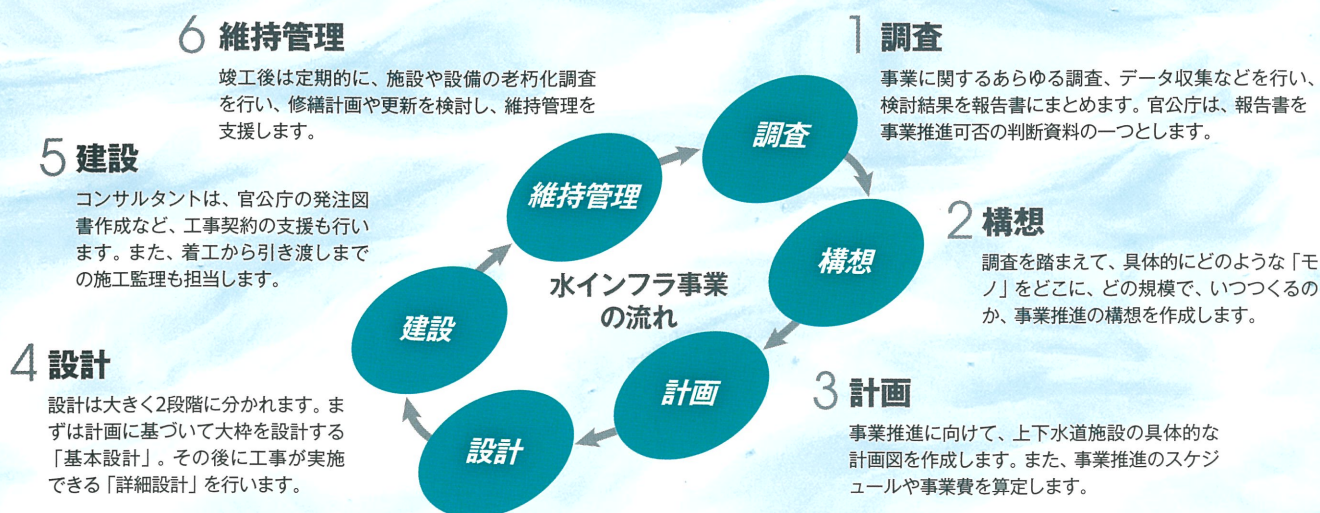
建設コンサルタントは国土のインフラ全般に対応した仕事をしています。
その中で、地域の水と環境に特化した上下水道の仕事を担うのが
水コンサルタントです。

皆さんは「コンサルタント」と聞いて、何をイメージしますか？
経営コンサルタント、ITコンサルタント、環境コンサルタント…。
さまざまな業種・業界で、彼らは専門技術や知識をお客様に日々提供し、
調査や提案などの業務に取り組んでいます。

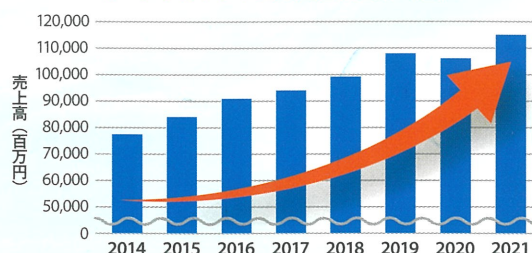
では、建設コンサルタントはどうでしょう？
その名の通り、公共事業の中でもとくに、
街づくりや建設に関する調査・計画・設計を行うコンサルタントです。
道路、橋梁、河川、ダム、港湾、鉄道、空港など分野は広く、
複数の分野を扱うコンサルタントから、
一つの分野に特化したコンサルタントが存在します。

そして、上下水道に特化した、
水インフラの専門技術者集団。
それが「水コンサルタント」なのです。

水コンサルタントは、 上下水道事業のあらゆる場面で活躍しています。



水コンサルタント会員会社売上高の推移



社会に貢献する若手

土木工学 × 実施設計

水は全ての根本
大きな視点から
水に携わりたい



M・Oさん

2022年入社

実施設計担当

専攻：土木工学
趣味：ライブ・音楽フェス



水コンサルタントを志望した理由は？

「社会の基盤を支える職業に就きたい」という思いが強かったからです。社会基盤にもいろいろありますが、「水」はすべての根本にあるのではないかと考えています。水なくして地球はありませんし、生き物が生きていくための絶対条件が「水」だと思い、「水」に直接関連する仕事を選びました。また、水に関わる職業の中でも、水コンサルタントはとくに設計者として大きな視点から社会の上下水道事業に携われると考えました。



どんな仕事を担当していますか？

主に実施設計を担当しています。具体的には、既存の水道施設の耐震診断や耐震補強設計に土木担当として携わっています。



現在の目標や夢を教えてください。

「この人に相談すれば安心だ」と思われるような、頼りがいのある水コンサルタントになることです。土木学科出身のため、構造・土質・水理などについて大学の授業で学んではきたのですが、実務で生かすにはまだまだです。今は、一つ一つ勉強し、物事の根本を理解し、常に最適解を考え、一步一步確実に成長していこうと考えています。



学生さんにメッセージをお願いします。

社会基盤を支えるという点で、水コンサルタントはとてもやりがいのある仕事です。設計業務を通じて自分が社会の基盤を支えているという実感が持てますし、業務がうまくいった時には、達成感ややりがいをしっかりと感じるすることができます。

土木工学 × 実施設計

自分が設計を
担当した案件の
工事が進んでいく



R・Hさん

2020年入社

実施設計担当

専攻：土木工学
趣味：スポーツ観戦



どんな仕事を担当していますか？

下水道管路の実施設計を担当しています。工事発注に必要な図面や設計書の作成などが主な業務になります。入社前は、会社にもってデスクワークだろうと考えていたのですが、実際はクライアントとの打ち合わせや現地調査に行くこともあり、意外と外出・出張の機会も多いので、いい意味でリフレッシュできます。



仕事のやりがいを教えてください。

設計を担当した案件が納品された後、また別の案件で同じお客様と打ち合わせする機会があり、「前の案件の工事は、順調に進んでますよ」と言われたことがありました。自分が設計に携わった施設の工事現場を見た時や、お客様から進捗具合を聞いた時は達成感がありますね。



現在の目標や夢を教えてください。

資格取得や技術力向上は当然めざしています。また日常は、マネジメント的な視点を持って業務に臨むことを目標としています。自分の仕事に集中するだけでなく、周囲の状況を目を配って、全体を把握し、複数の業務をスムーズにまわせるようにと考えています。



就活のアドバイスをいただけますか？

「興味がある仕事」というだけでなく、「将来にわたり社会に必要とされる仕事」という視点も持って、業界研究をすれば良い企業にめぐり会えると思います。何十年と長く興味を持続していくには、「社会への貢献」が実感できる仕事がいいと考えています。



コンサルタントの声

土木工学 × 計画業務

創意工夫をこらし、
ニーズに応える
計画を策定



M・Yさん

2019年入社

計画業務担当

専攻：環境創生理工学
趣味：映画鑑賞

どんな仕事を担当していますか？

管路施設など、下水道施設の計画業務を担当しています。国内の下水道施設は施工から40～50年経過しているものも少なく、これらの維持管理、地震・浸水など災害対策に対する計画・設計の策定業務が主な業務です。施設の調査をし、お客様のニーズを考え、最適な計画を立てていくというスパンの長い仕事になります。

仕事ではどんなことを心掛けていますか？

複数のプロジェクトを並行して進めることが多いため、スケジュールの管理を大切にしています。また外出での移動時間に、資料の確認を行うなど、隙間時間を有効に活用するように心がけています。

仕事のやりがいを教えてください。

インフラの整備とはいえ、条件が整っているわけではなく、人材、物資、財源が不足しているお客様もいらっしゃいます。ニーズに応えるために、創意工夫をこらして、いかにして効率的・効果的な計画・設計を策定できるかが難しくもあり、やりがいを感じる部分でもあります。そうして自分が検討した内容を基に、実際の工事が進んでいきますので、その時は達成感が感じられます。

水コンサルタントを志望した理由は？

まず、進学の際に、多くの人々の役に立つような仕事がしたいと考え、土木を専攻しました。大学生活を通して、水に関わる分野が生活に欠かせないものであると感じるようになり、水分野、とくに「水コンサルタント企業」への就職を意識するようになりました。

環境工学 × 計画業務

水の世界は
案件一つ一つが
変化に満ちている



R・Kさん

2019年入社

計画業務担当

専攻：環境創生理工学
趣味：ジムトレーニング、キャンプ

どんな仕事を担当していますか？

上水道の計画業務を担当しています。国内の水道施設は更新時期が到来しているため、事業全般を対象とした施設設備の更新計画が多くなっています。老朽化対策、急増している地震・豪雨など災害対策が、大きな課題になっています。

仕事のやりがいを教えてください。

水道事業全体に対する更新計画の策定などは、水道事業の今後の方針を決めることになるため、責任も重大で、やりがいも大きいです。計画の策定では、複数のパターンを作って検討するのですが、各パターンで異なる水運用・整備内容などをすべて把握し、整理するという大変な業務になります。それだけに方針が決まった時には、大きな達成感があります。

魅力はどこですか？

プロジェクトごとに抱える課題が大きく異なるため、常に新鮮な気持ちで取り組むことができます。技術の進化も著しく、今学んだことがずっと生かせるわけではないんです。興味が持続できますし、そういった変化に満ちた世界であることが、仕事のモチベーションになっています。

就活生へのメッセージをお願いします。

水コンサルタントは、若いうちから自分の裁量で進めていける仕事であり、公益に関わる仕事でもあります。また、学生時代の専攻はあっても、入社後はさらに幅広く、奥深い技術や知識を身につけることになりますので、充実感や成長を求めるには最適の仕事だと思います。



水コンサルタントの仕事



街の未来を描き、

人口の増減、産業の誘致、自然環境の変化など、さまざまな要因によって、街は姿を変えていきます。そして、その時代に必要とされる水インフラの姿も変わっていきます。街全体の未来像が創造されていく中で、知識や技術、アイデアをもとに、将来の水インフラがどうあるべきなのかを多様な視点から検討し、水という側面から街の未来の姿を描いていく。それが水コンサルタントです。



安全で豊かな 地域社会のために、

水道や下水道は重要なライフラインの一つです。たえず最善の機能が維持される中で、役に立つものです。それだけに水コンサルタントが果たす社会的な役割は大きく、人々の安全・安心な暮らしを支える仕事といえます。また、近年の重要課題である「災害に強い街づくり」においても、水コンサルタントは不可欠の存在。さらに災害時には、被害状況の把握から復旧方法の検討、設計まで、一日も早い復旧に向けて水コンサルタントが大きく関わっていきます。



つくり 支えていく仕事。

水インフラとは、管路、浄水場、下水処理場、ポンプ場などであり、水道・下水道に関わるすべてが水コンサルタントの対象です。また、土木をはじめとした、幅広い専門分野の技術が集結された知識とアイデアをもって考える仕事です。しかも、正解は一つだけではありません。水コンサルタントの数だけ導き出されるプランがあります。



水コンサルタントの職場

水コンサルタント各社は、社員がよりよい環境で、より高いレベルにスキルアップし、また日々生きがいを持って仕事に取り組めるよう、様々な視点から多様なサポートを行っています。

働きやすい職場環境

水コンサルタント各社は働きやすい職場環境を目指し、ノー残業デーの促進や発注者に適正な工期確保等を要望しています。



多様で充実した教育研修

水コンサルタント各社は、研修を通じて次世代人材の育成に努めています。

水コン協では人材育成を目的に技術講習会や若手研修会、施設見学会等を開催しています。



若手社員研修会(水コン協)

環境保全と社会貢献

一般市民や子どもたちも参加する水環境保全等の社会貢献活動や、広報活動を通じて、上下水道の水環境保全における役割等についての理解促進を図っています。



耶馬の森林植樹 作業風景(水コン協)



仙台市下水道フェア(水コン協)

サステナブルな社会に向けて

水コンサルタント各社は、水と環境のコンサルティング業務を通じて、SDGsを推進しています。

SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年9月のニューヨーク国連サミットにて採択された国際社会共通の目標で、2030年までに気候変動や格差是正などの幅広い課題の解決を目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

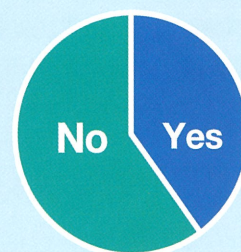
世界を変えるための17の目標



上下水道のコンサルティングを通じて快適な生活環境や水域の生態保全、安全な街づくりなど持続可能な社会の実現に貢献しています。



就活スタート時点で、
水コンサルタントになろうと
決めていましたか？



話を聞けば、きっと新しい発見があるはず。